

# Run at the bottom

---

When you reach the bottom of the page by scrolling, the preset JavaScript is executed.

## ActTab\_Extention

ページ最下部に到達すると、事前に設定したJavaScriptを実行する。

- `chrome.tabs.onActivated.addListener` にて、アクティブタブ切り替え毎にJavaScriptの実行が可能。

## Remarks

---

C h r o m e 拡張機能の作成の記録。

- バックグラウンドページは機能拡張のロードとともに読み込まれ、常に裏で実行されている。（＝常にメモリに駐在し続ける。）
- バックグラウンドページは、現在表示しているページのDOM要素やコンテンツスクリプトとは隔絶されています。
- イベントページはバックグラウンドページと同じようにインストールや起動時に読み込まれますが、一定の時間が経過すると無効になり、メモリを開放します。
- `getBackgroundPage`でバックグラウンドページのwindowオブジェクトを取得して、`backgroundFunction`メソッドを実行。
- バックグラウンドページが無効の場合の対処方法として、`runtime.getBackgroundPage`を用いる。
- バックグラウンドページにて、機能拡張のインストール時に実行される`runtime.onInstalled`と、起動時に実行される`runtime.onStartup`を利用する。
- Message Passing（メッセージパッシング）という仕組みで、データを送受信する。
- メッセージパッシングでの送受信にはJSON形式を用い、データの型は「null, boolean, number, string, array, object」を渡すことができる。
- メッセージの送信には`chrome.runtime.sendMessage`か、`chrome.tabs.sendMessage`を使い、メッセージの受信は共に`chrome.runtime.onMessage.addListener`を使う。という仕組み。
- コンテンツスクリプトに送信するときだけ`chrome.tabs.sendMessage`を使います。
- `chrome.storage` APIなら保存したデータを相互にやり取りできます。
- コンテンツスクリプトを利用して、現在表示中のページを構成しているDOM要素を読み込んだり、変更したりできます。